

高畠町公式マスコットキャラクター



たかつき

はたつき

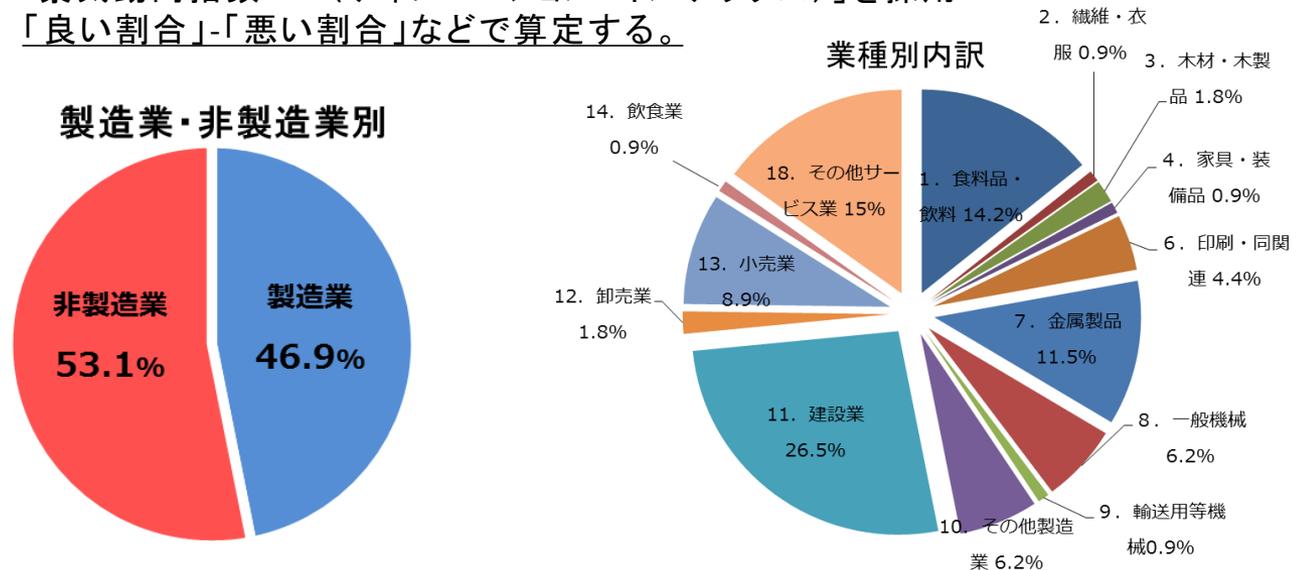
平成27年度 第1回高畠町景況調査結果 (平成27年6月実施)

平成27年8月
高畠町産業経済課



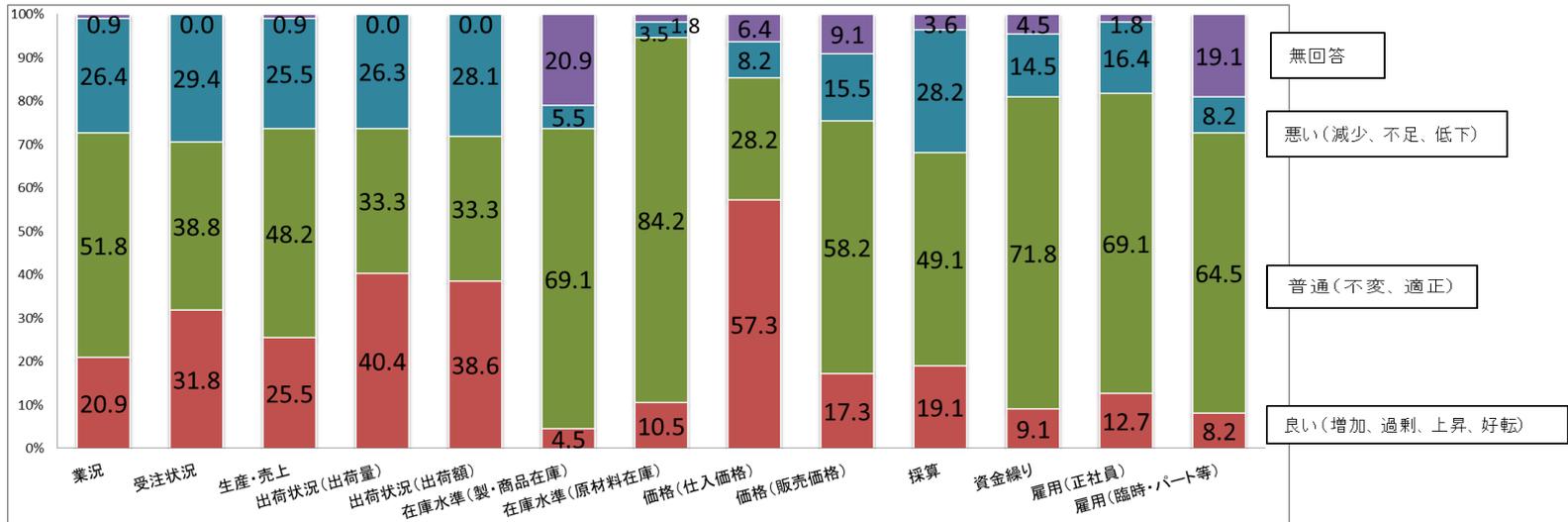
1. 調査概要及び回収結果

1. 調査の目的 町内事業所の現状の景気動向を把握し、地域産業の振興施策を検討する上での基礎資料を得る。特に、政府による経済政策に対する景気動向と行政、商工会等に希望する支援等を調査する。
2. 実施主体 高畠町、高畠町商工会
3. 調査設計 (1) 標本数：町内事業所(個人事業主も含む)175事業所
(2) 調査方法：調査票の配布(郵送法)、回収(FAX及び持参)
(3) 調査期間：平成27年5月27日～平成27年7月15日
4. 回収結果 113事業所(回収率64.6%)
5. 採用指標 「景気動向指数D.I.(ディフュージョン・インデックス)」を採用
「良い割合」-「悪い割合」などで算定する。

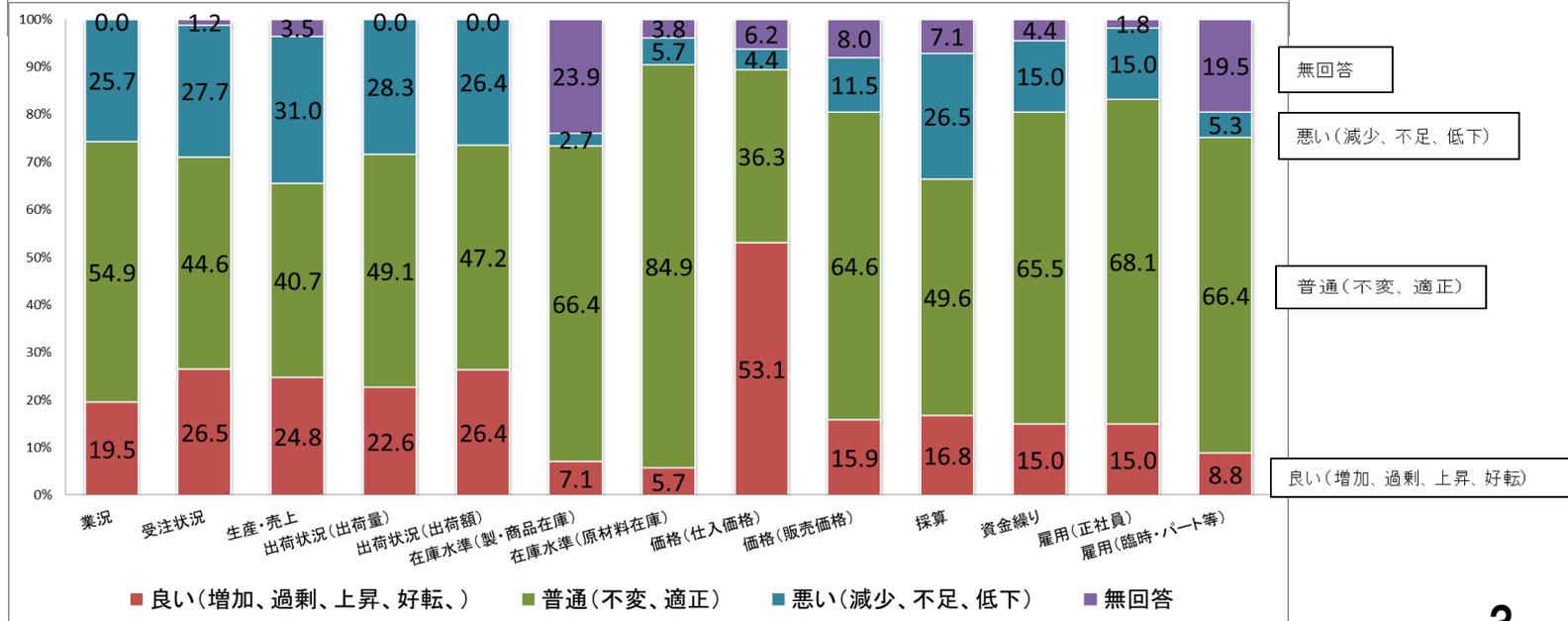


2. 各設問のデータ比較(%)

前期
(平成26年6月～
平成26年11月)



今期
(平成26年12月～
平成27年5月)



3. D.I.から見た景気予測

高畠町景況調査(DI)から見た景気情勢(平成27年6月調査)

※ DI:景気動向指数(「良い割合」-「悪い割合」等)

No.	調査項目	H21.4~ 6月期	推移	H21.7~ 11月期	推移	H21.12~ 22.5月期	推移	H22.6~ 11月期	推移	H22.12~ 23.5月期	推移	H23.6~ 11月期	推移	H23.12~ 24.5月期	推移	H24.6~ 11月期	推移	H24.12~ 25.5月期	推移	H25.6~ 11月期	推移	H25.12~ 26.5月期	推移	H26.6~ 26.11月期	推移	今期 DI H26.12~ 27.5月期実 績	推移	来期 DI H27.6月~ 27.12月期 見通し
1	業況	▲ 70.1		▲ 51.4		▲ 42.1		▲ 41.3		▲ 52.8		▲ 12.7		▲ 20.5		▲ 30.3		▲ 38.8		▲ 7.7		▲ 6.8		▲ 5.5		▲ 6.2		▲ 7.1
2	受注状況(製造業・建設業)	▲ 80.3		▲ 50.1		▲ 43.1		▲ 26.1		▲ 23.6		▲ 4.4		▲ 13.8		▲ 27.1		▲ 34.7		8.0		12.8		2.4		▲ 1.2		▲ 4.8
3	生産・売上	▲ 70.1		▲ 48.6		▲ 31.9		▲ 14.3		▲ 40.3		▲ 3.2		▲ 8.2		▲ 25.0		▲ 33.7		2.9		1.9		0.0		▲ 6.2		▲ 8.8
4	出荷状況【出荷量】(製造業)	▲ 70.3		▲ 47.0		▲ 33.4		▲ 10.0		▲ 24.4		9.4		▲ 17.5		▲ 43.9		▲ 35.6		3.5		11.5		14.0		▲ 5.7		▲ 9.4
	出荷状況【出荷額】(製造業)	▲ 67.6		▲ 50.0		▲ 33.4		▲ 10.0		▲ 29.8		3.1		▲ 32.5		▲ 46.3		▲ 40.7		0.0		9.6		10.5		0.0		▲ 9.4
5	在庫水準【製・商品在庫】	▲ 5.2		2.7		2.9		6.3		8.3		3.2		9.6		7.9		9.2		7.7		3.9		▲ 0.9		4.4		3.5
	在庫水準【原材料在庫】 (製造業)	16.2		11.8		0.0		10.0		5.4		9.4		2.5		12.2		6.8		14.0		3.8		7.0		0.0		0.0
6	価格【仕入価格】	▲ 3.9		2.8		18.8		27.0		32.0		34.9		32.9		32.9		50.0		45.2		59.2		49.1		48.7		48.7
	価格【販売価格】	▲ 51.9		▲ 52.8		▲ 40.6		▲ 30.1		▲ 26.4		▲ 17.5		▲ 20.5		▲ 21.1		▲ 23.5		▲ 7.7		8.7		1.8		4.4		1.8
7	採算	▲ 70.1		▲ 55.5		▲ 39.1		▲ 27.0		▲ 54.1		▲ 25.4		▲ 24.7		▲ 27.6		▲ 35.7		▲ 8.7		▲ 20.4		▲ 9.1		▲ 9.7		▲ 14.2
8	資金繰り	▲ 50.6		▲ 40.3		▲ 23.2		▲ 23.8		▲ 33.3		▲ 22.2		▲ 20.5		▲ 22.4		▲ 31.6		▲ 12.5		▲ 8.7		▲ 5.5		0.0		▲ 7.1
9	雇用【正社員】	▲ 9.1		▲ 8.4		▲ 10.3		▲ 9.6		1.4		▲ 11.1		12.3		▲ 2.6		▲ 5.1		1.0		▲ 7.8		▲ 3.6		0.0		3.5
	雇用【臨時・パート社員等】	▲ 15.6		1.4		▲ 5.8		7.9		▲ 5.5		0.0		16.4		1.3		▲ 1.0		1.9		1.9		0.0		3.5		0.9

4. 景気動向(概要)

町内事業所の業況は、消費税率引上げの影響から緩やかな回復傾向にあったが、円安や原材料高の影響により回復に向けた動きに足踏みが見られる。

(1) 業況D.Iについて、前期(▲5.5)から今期(▲6.2)と0.7ポイント下降し、受注、生産、出荷状況が、前期までのプラスから一転、マイナスの値へと下降している。また、原材料高に伴う仕入価格の上昇を価格転嫁できない傾向にあり、採算性の下降につながる恐れがある。

来期は、受注、売上、出荷状況 共に下降することが見込まれている。

(2) 雇用D.Iについて、正社員(前期▲3.6から今期0.0)、臨時・パート社員等(前期0.0から今期3.5)ともに改善傾向にある。

来期は、正社員、臨時・パート社員等ともにプラスの値が見込まれており、雇用情勢の改善が進んでいると見られる。

5. 事業所、業界の動向

No.	良い
1	受注増加傾向である。
2	堅調な推移である。
3	やや好転か？
4	良好
5	前年度対比、売上増

No.	悪い
1	国産原料が高く、資材の価格も上がっているが製品は値上げはできず、内部の努力も限界。
2	円安による原料高により利益が圧迫されている。販売価格の値上げが困難である。
3	取引先の不振により業況(売上)悪化傾向。
4	北陸新幹線や蔵王の影響があります。今年は厳しい年になりそうです。
5	良い状況とはいえない。
6	原材料費がupし、販売価格に転嫁できない。
7	大手数社と地方の数千社との業界格差が大きく、販売価格の主導権がとれない。価格改訂が極めて困難。人口減少、嗜好の変化による需要減少。
8	相場が異常に高い。
9	円安で各原材料の値上げにより販売低下すれば、会社の合理化だけではいつまで続けていけるか不安です。
10	比較的安定している業界とはいえ消費税の痛手は大きいです。(増税)

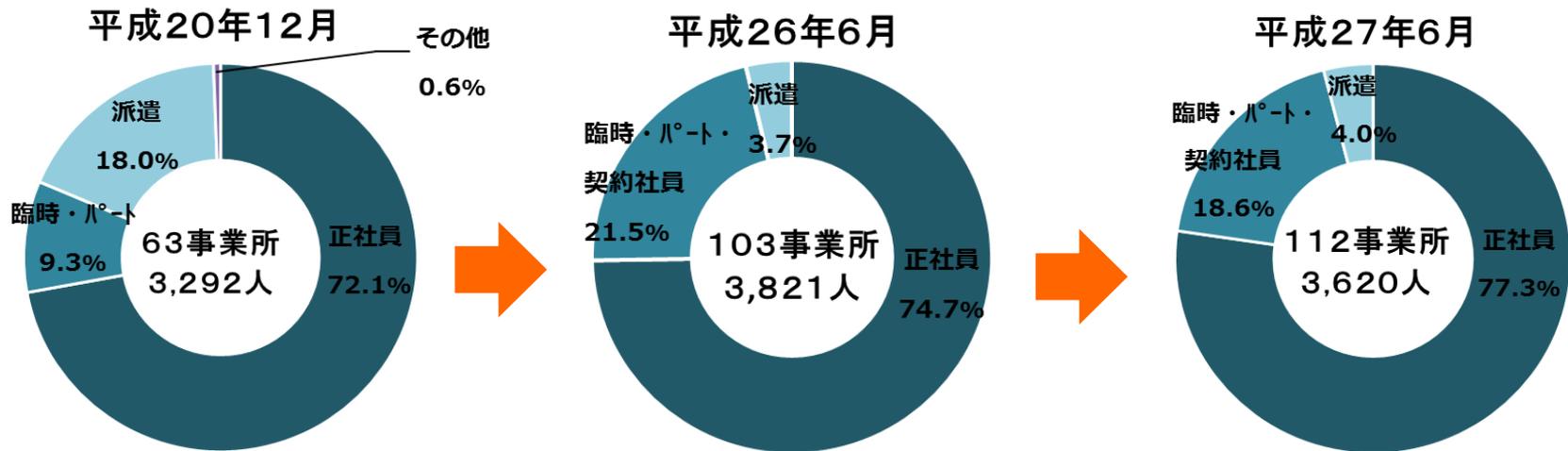
No.	悪い
11	製造業のお客様、やや悪い。戸建住宅の減少による入荷減。
12	住宅の新築工事が無い。工場の設備工事が無い。
13	高齢化を背景に件数は増えるが、消費者の簡素化ニーズが高まるに伴って平均単価は下落。異業種からの参入もあり、お客様の価格の明瞭化には、しっかり対応しなければならない。
14	仕事の量が減っている。
15	平成27年4月に介護報酬が下げられたのでどこも大変だと思う。
16	人口減少により、悪い方向に行くと思う。経済的に商工振興係様よろしくお願い致します。役場の車も少し回して仕事させてください。
17	店売りが来店者数の減少で悪化している。資金繰りもきびしい。

No.	その他
1	企業が農業に参入できる仕組みを！！
2	受注・売上げ等、大きな変化はない。
3	6月以降、受注に左右される要素が大きく不透明ですが、昨年度並みの仕事量は確保できそうです。
4	業容拡大は見えているが、人手不足により進めない状況にある。
5	来期につきましては上記○をつけましたがまったくわかりません。安定した仕事が欲しいです。
6	小さな会社なのでどこでも通用する技術が必要である。そのためにも努力をおしまない。そうすれば結果(仕事)はついてくる。たぶん！

6. 行政や商工会等への要望事項

No.	要望事項
1	町の商業のあるべき姿をもっと真剣に考えてほしい。このままでは商業は成り立たない！！
2	助成金の取扱い
3	全町民・全会員の負託を担う覚悟を見せて欲しい。長期低利の制度資金を紹介してほしい。
4	従業員の雇用についても町の業者優先にしていきたいと思えます。
5	高島中学校開校にむけての備品購入があれば地元優先でお願いしたいです。

7. 雇用状況の推移

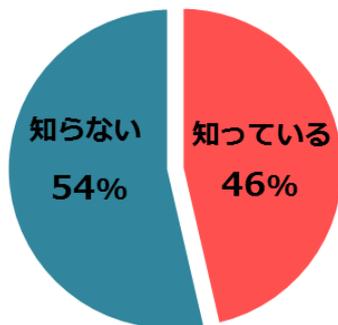


調査を開始した平成20年12月と比較し、今期は正社員は5.2ポイント、臨時・パート等は9.3ポイント増加し、派遣は14ポイント減少している。

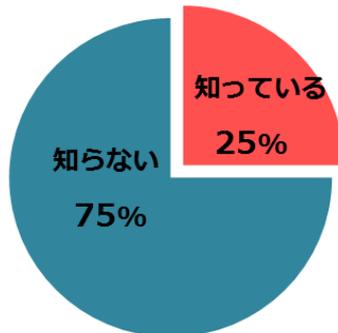
1年前との比較では、正社員が2.6ポイント増加となっている。雇用情勢は改善傾向にあり、来期(H27.12調査予定)も臨時・パート社員を中心に増員が見込まれる。

8. 子育て支援制度の認知度

山形いきいき子育て
応援企業への登録制度



くるみんマーク
プラチナくるみんマーク



平成27年度は「第2次高畠町男女共同参画いきいきプラン」の初年度にあたり、国・県の子育て支援制度の認知度についての設問を設けました。

「山形いきいき子育て応援企業への登録制度」を「知らない」が54%、「くるみんマーク・プラチナくるみんマーク」を「知らない」が75%という結果になりました。平成30年には認知度が過半数を超えるよう、今後も国・県と連携して取り組んでいきます。